

Blood 107, 1366-1374, 2006	Phagocytosis of co-developing megakaryocytic progenitors by dendritic cells in culture with thrombopoietin and tumor necrosis factor- α and its possible role in hemophagocytic syndrome.	Saito K, <u>Hirokawa M</u> , Inaba K, Fukaya H, Kawabata Y, Komatsuda A, Yamashita J, Sawada K	腫瘍センタ ー
International Journal of Hematology 83, 156-158, 2006	Successful reduced-intensity hematopoietic stem cell transplantation in myelodysplastic syndrome with severe coronary artery disease.	Kosugi S, <u>Hirokawa M</u> , Kawabata Y, Hasegawa H, Yoshioka T, Miura I, and Sawada K.	腫瘍センタ ー
International Journal of Hematology 83, 181-182, 2006	Vaginal outflow tract obstruction associated with chronic graft-versus-host disease following allogeneic peripheral blood stem cell transplantation.	Hirokawa M, Sato H, Kawabata Y, Sawada K.	腫瘍センタ ー
Journal of Immunology 176, 5637-5643, 2006	Tumor-derived TGF β -1 induces dendritic cell apoptosis in the sentinel lymph node.	Ito M, Minamiya Y, Kawai H, Saito S, Saito H, Nakagawa T, Imai K, <u>Hirokawa M</u> , Ogawa J	腫瘍センタ ー
Tohoku Journal of Experimental Medicine 209, 61-67, 2006	Successful Autologous Peripheral Blood Stem Cell Transplantation Using Thiotepa in a Patient with Systemic Sclerosis and Cardiac Involvement.	Komatsuda A, Kawabata Y, Horiuchi T, Motegi M, Ozawa M, Fujishima N, Kume M,	腫瘍センタ ー

		<u>Hirokawa</u> M, Wakui H, Yamaguchi A and Sawada K	
Bone Marrow Transplantation, 38, 387-388, 2006	Laryngeal stenosis associated with chronic graft-versus-host disease following unrelated bone marrow transplantation.	<u>Hirokawa</u> M, Kume M, Wu T, Ishikawa K, Sawada K.	腫瘍センタ ー
International Journal of Hematology, 84, 445-448, 2006	Late-onset fatal Epstein-Barr virus-associated hemophagocytic syndrome following cord blood cell transplantation for adult acute lymphoblastic leukemia.	Kawabata Y, <u>Hirokawa</u> M, Saitoh Y, Kosugi S, Yoshioka T, Fujishima M, Fujishima N, Kameoka Y, Saitoh H, Kume M, Takahashi N, Sawada K	腫瘍センタ ー
Haematologica 91, ECR47, 2006	Oligoclonal T cell expansion in blood but not in the thymus from a patient with thymoma-associated pure red cell aplasia.	Fujishima N, <u>Hirokawa</u> M, Fujishima M, Wada C, Toyoshima I, Watanabe S, Sawada K	腫瘍センタ ー
Internal Medicine 45, 963-966, 2006	Adrenal insufficiency complicated with antiphospholipid syndrome (APS).	Fujishima N, Komatsuda A, Ohyagi H, Fujishima M, Tada M, Ohtani H,	腫瘍センタ ー

		Wakui H, <u>Hirokawa</u> M, Sawada K	
Annals of Thoracic Surgery, 81, 327-330, 2006	(2006) Intraoperative sentinel lymph node mapping using a new sterilizable magnetometer in patients with nonsmall cell lung cancer.	Minamiya Y, Ito M, <u>Katayose</u> Y, Saito H, Imai K, Sato Y, Ogawa J	腫瘍センター
臨床血液 47, 770-776, 2006	テトラソミー8を認めた急性単球性白血病	亀岡淳一、堀内高広、宮村耕一、三浦偉久男、奥田光崇、野村順、 <u>廣川 誠</u> 、澤田賢一、佐々木毅	腫瘍センター
最新医学 61: 368-374, 2006	慢性赤芽球癆	<u>廣川 誠</u> 澤田賢一	腫瘍センター
臨床血液 47; 316-330, 2006	赤芽球癆診療の参照ガイド	澤田賢一、浦部晶夫、中尾眞二、別所正美、唐沢正光、石田陽治、小松則夫、増田道彦、 <u>廣川 誠</u> 、茂木睦仁、小峰光博	腫瘍センター
Akita Journal of Medicine, 33, 21-28, 2006	乳癌患者におけるアイソトープを用いたセンチネルリンパ節生検 Feasibility study の検討	片寄喜久、鎌田収一、 <u>初山 恵</u> 、戸村則昭、南條 博、小川純一	腫瘍センター
電気学会論文誌C, 126, 306-31, 2006	遠赤外線ヒータを用いた体表面の加熱プロセスによる乳癌検査に関する研究	尹 鍾賢、水戸部一孝、 <u>片寄喜久</u> 、小川純一、吉村 昇	腫瘍センター

秋田県医師会雑誌, 5 7, 17-22, 2006	センチネルリンパ節生検に基づく腋窩郭清を省略した 乳癌縮小手術の有用性について	片寄喜久, 菅原 健, 伊 藤亜樹, 佐 々木靖博, 南條 博, 小 川純一	腫瘍センタ ー
<i>Br J Clin Pharmacol</i> 61, 315-320 (2006)	Enantioselective disposition of rabeprazole in relation to CYP2C19 genotypes.,	Miura M. Kagaya H. Tada H. I. Suzuki T.	薬剤部
<i>Eur J Clin Pharmacol</i> 62, 113-117 (2006)	Stereoselective metabolism of rabeprazole-thioether to rabeprazole by human liver microsomes.	Miura M. Sato S. Tada H. Habuchi T. Suzuki T.	薬剤部 泌尿器科
<i>J Pharm Biomed Anal</i> 41, 565-570 (2006)	Determination of rabeprazole enantiomers and their metabolites by high-performance liquid chromatography with solid-phase extraction.	Miura M. Tada H. Sato S. Habuchi T. Suzuki T.	薬剤部 泌尿器科
<i>Xenobiotica</i> 36, 95-102 (2006)	Intestinal CYP3A4 is not involved in the enantioselective disposition of lansoprazole.	Miura M. Kagaya H. Tada H. Suzuki T.	薬剤部
<i>Transplantation</i> 82, 486-493 (2006)	Circadian Pharmacokinetics of Mycophenolic Acid and Implication of Genetic Polymorphisms for Early Clinical Events in Renal Transplant Recipients.	Sato S. Tada H. Miura M. Suzuki T. Habuchi T.	薬剤部 泌尿器科
<i>Int J Clin Pharmacol Ther</i> 44, 605-613 (2006)	Influence of ABCB1 C3435T polymorphism on the pharmacokinetics of lansoprazole and gastroesophageal symptoms in Japanese renal transplant recipients classified as CYP2C19 extensive metabolizers and treated with tacrolimus.	Miura M. Sato S. Kagaya H. Habuchi T. Suzuki T.	薬剤部 泌尿器科
<i>Analytical letters</i> 39, 2405 - 2415 (2006)	Simultaneous determination of fluvoxamine and its m etabolites in human liver microsomes by high-perfor mance liquid chromatography with solid-phase extract ion.	Miura M.	薬剤部

小計 8

<i>Yakugaku Zasshi</i> 126 , 395-402 (2006)	Enantioselective disposition of lansoprazole and rabeprazole in human plasma.	Miura M.	薬剤部
<i>Yakugaku Zasshi</i> 126 , 1357-1362 (2006)	Quantification and 24-hour Monitoring of Mycophenolic Acid by High-Performance Liquid Chromatography in Japanese Renal Transplant Recipients.	Kagaya H. Inoue K. Miura M. Suzuki T.	薬剤部

小計 2

合計 170

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文とし申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長 溝 井 和 夫			
管理担当者氏名	総務課長 小澤 浩	医事課長 佐藤 悟	薬剤部長 鈴木敏夫	
	保 管 場 所	分 類 方 法		
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約	医 事 課 (病 歴 室)	1患者1カルテ方式によりカルテを作成し、入院・外来とも原則として20年間保存管理している。		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業員数を明らかにする帳簿	総 務 課		
	高度の医療の提供の実績	医 事 課		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医 事 課		
	高度の医療の研修の実績	総 務 課		
	閲覧実績	総 務 課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医 事 課		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医 事 課 薬 剤 部		
	規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療サ-収室
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医 事 課
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況		医療サ-収室
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療サ-収室
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況		医療サ-収室
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療サ-収室
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		総 務 課 看 護 部 医療サ-収室		
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況		医療サ-収室		

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 溝井和夫
閲覧担当者氏名	総務課長 小澤 浩
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延 0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	68.8 %	算定期間	平成 18年 4月 1日～平成 19年 3月 31日
算出根拠	A:紹介患者の数		7,270 人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数		6,133 人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数		662 人
	D:初診の患者の数		14,311 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延べ数を記入すること。

規則9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(3名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(3名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・所属職員： 専任(3)名 兼任(15)名 ・活動の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事要旨の作成並びに保存その他委員会の庶務に関すること。 (2) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと。 (4) インシデントの原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。 (5) インシデント報告の調査・分析及び改善策の立案に関すること。 (6) インシデント報告の判定に関すること。 (7) 医療安全管理委員会で策定された改善策の実施状況調査に関すること。 (8) 医療の安全管理に関する指導方法に関すること。 (9) 医療の安全管理のための職員研修の実施に関すること。 (10) 医療事故等防止対策マニュアル及び各種マニュアルの作成・改定作業に関すること。 (11) 医療の安全に係る連絡調整に関すること。 (12) その他医療安全対策の推進に関すること。 	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 安全管理に関する基本的な考え方 (2) 安全管理のための委員会、組織に関する基本事項 (3) 安全管理のための職員研修に関する基本方針 (4) 改善の方策に関する基本方針 (5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 (6) 指針の閲覧に関する基本方針 (7) その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年13回
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療に係る安全管理のための指針に関すること。 (2) 医療に係る安全管理の体制に関すること。 (3) 医療事故等防止対策マニュアルに関すること。 (4) 医療の安全管理のための職員研修に関すること。 (5) インシデントに関する調査・分析、改善策の策定・実施及び職員への周知に関すること。 (6) 医療事故の判定及び認定に関すること。 (7) 策定された改善策の評価及び見直しに関すること。 	

- (8) 医療事故及び医事紛争の対応策に関すること。
- (9) その他医療の安全管理に関し必要なこと。

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年 6回

・ 研修の主な内容：

医療の安全管理に関する研修会（平成18年 8月 3日開催）

- ・ 安全な医療を提供するために ～患者の視点に立っていますか？～

医療の安全管理に関する研修会（平成18年10月12日開催）

- ・ AHA救急蘇生のガイドライン2005の解説と実技（一次救命処置）

医療の安全管理に関する研修会（平成18年10月27日、平成19年 1月24日、 1月27日開催）

- ・ 講演会 JALのサービスとホスピタリティ

医療の安全管理に関する研修会（平成18年11月 2日開催）

- ・ 講演会 病院の質を改善する取り組み ～坂総合病院編～

医療の安全管理に関する研修会（平成18年11月21日、平成19年 1月18日、 1月21日開催）

- ・ 医療の安全と質が問われる診療録・看護記録とは？

医療の安全管理に関する研修会（平成18年12月 5日開催）

- ・ 講演会 ヒューマンエラーのメカニズムと対策

⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 （有） ・ 無 ）

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

インシデント発生部署から報告された事例の改善案を基に、医療安全管理室において改善策の立案を行う。

その後、医療安全管理委員会において、改善策の評価及び見直しについて審議決定する。

医療事故又は医療事故が疑われる事例に関しては、医療安全管理委員会において、改善策の策定、評価及び見直しについて審議決定する。

以下について策定し職員に周知させた。

- ① 麻薬静脈内持続注入の標準化について
- ② 薬剤調整の準備時におけるダブルチェックの統一
- ③ インスリン等指示伝達ファイルの使用及びインスリン指示書の変更
- ④ 複数の外来患者に対する臨時注射払い出し方法の統一
- ⑤ 医療事故等防止対策マニュアル及び医療事故・インシデント発生時対応ポケットマニュアルの改訂